

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。
謹白



項目名

【感染症遺伝子検査】

- 腔トリコモナス及びマイコプラズマ・ジェニタリウム/リアルタイムPCR
(依頼コード No.13748)

受託開始日 2022年6月27日(月) ご依頼分より

腔トリコモナス(*Trichomonas vaginalis*:TV)は世界で最も感染者数の多い性感染症の原因であり、男性では尿道炎、女性では腔内のかゆみやただれを引き起こす原虫です。診断に有用とされている培養法では結果を得るまでに1週間程度を要することから、TV症に対する高感度かつ迅速な確定診断法の確立が強く望まれていました。

また、マイコプラズマ・ジェニタリウム(*Mycoplasma genitalium*:MG)は尿道炎、子宮頸管炎や骨盤内炎症性疾患を引き起こす細菌ですが、合成培地での培養が困難なこともあり、菌の存在を確認できる簡便な診断方法の確立が求められていました。

この度、TV及びMGの核酸を同時検出する本検査が、TV感染又はMG感染の診断補助を使用目的として保険適用されましたので受託を開始いたします。

裏面に続きます

受託要領

依頼（報告） コード No.	13748（親）TV・MG/PCR ----- （子）23044 腔トリコモナス （子）23045 M・ジェニタリウム
検体必要量	腔擦過物および子宮頸部擦過物 尿（初尿） 4.5～6.3mL
容器	腔擦過物および子宮頸部擦過物：CT/NG PCR-S 尿：CT/NG PCR-U
検体の保存方法	室温（開封厳禁）
所要日数	3～5
検査方法	リアルタイムPCR法
基準値	陰性
単位	なし
報告範囲	陰性、陽性
検査実施料 / 判断料	350点 / 150点（微生物学的検査） 腔トリコモナス核酸及びマイコプラズマ・ジェニタリウム同時核酸検出は、リアルタイムPCR法により、腔トリコモナス感染症を疑う患者であって、鏡検が陰性又は実施できないもの又はマイコプラズマ・ジェニタリウム感染症を疑う患者に対して治療法選択のために実施した場合及び腔トリコモナス感染症又はマイコプラズマ・ジェニタリウム感染症の患者に対して治療効果判定のために実施した場合に算定する。
備考	専用容器以外では検査できません。 淋菌及びクラミジア・トラコマチス/リアルタイムPCR（コードNo.01018）との同時依頼はできませんので、別途単独検体にてご提出ください。

【参考文献】

Higuchi, R. et al.: Biotechnology (NY) 10, 413-417, 1992.

Heid, C.A. et al.: Genome Research 6, 986-994, 1996.

Longo, M.C. et al.: Gene 93, 125-128, 1990.